

アバター：ルーミア PL：Ryo

あんじょう まゆ

人が持つ“闇”への恐怖心を核にしたレネゲイドビーイング。
“闇”への恐怖心とは“目に見えない何か恐ろしいもの”に対するものであり、一定のイメージがあるわけではない。
しかし、レネゲイドウイルスによって自我を持つと、“闇”は自らを恐れる人間を理解したいと願うようになる（覚醒：探求）。
そこで、人間とのコミュニケーションが可能な形を取ったのが彼女である。その際、幼い子供の姿の方が警戒されないと考えて、今の姿になった。
人間の社会にもぐりこみ、理解を深めるために各地を転々とする。
しかし、彼女の存在の基盤である“闇”への恐怖心は、いつしか人工の光によって消えようとして居た。そのため、自らの存在を保つために人に恐怖してもらう必要が生じてきた。
そこで彼女は、自らの能力で人間に恐怖心と呼び起こすようになる。いわゆる心霊現象の一部は彼女が引き起こしたものである。

そんな彼女に対して、UGNが接触してきたことがあった。
交渉の結果、レネゲイドに関する研究に協力することになる。そこでテレーズ・ブルムと知り合う。
更に、研究後もUGNに協力する場合は、UGNに敵対する人間の恐怖心を糧にするは見逃すという取引がなされる。

それ以降は、人間への理解を深めるための旅を続けつつ、時たまUGNに協力しては人の恐怖心と呼び起こしている。

影から影、闇から闇に移動し、攻撃する時には敵の影から黒い光の帯が触手のように巻きついたり刺し貫いたりする。
そして流れた血を影が吸収し、敵の恐怖心を糧とする。
闇を作りだしたり、影を介して遠くを知ることでもある。

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

[illegible][illegible]